



年度末の3月がスタートしました。

政府の方針として、3月13日からは新型コロナウイルス対策のためのマスク着用が、個人の判断に委ねられる事になりました。学校では、原則、3月末までは従来通り、校内ではマスクの着用をルールとしますが、4月以降は、政府方針に従い、マスクの着用は個人の判断に委ねる予定です。3月17日の卒業式は、中間対応として、6年生の児童、教員はマスク無しを基本とし、保護者、在校生はマスク着用で実施することを予定しています。

4月以降は、色々な行事を再開し、コロナ前の状態に戻していきけるのではないかと考えています。校内・校外活動、学校をまたがったの活動も再開し、子どもたちが様々な経験を積めるように進めていきたいと考えています。



【学校評価書について（公表）】

2月20日に今年度最後の学校運営協議会が開催されました。今回は、学校が教員・保護者・児童に実施したアンケートをもとに整理した「学校評価書」を学校運営協議会の皆様にご説明し、承認を頂きました。以下に概要を示します。頂いたご意見をふまえ、令和5年度の学校運営に生かして行きたいと思えます。



<学校評価（概略）>

- 思いやりのある子ども：十分に成果をあげている
- 進んで学ぶ子ども：一部課題あり
- 元気な子ども：一部課題あり
- 地域と共にある学校：十分に成果をあげている

<学校運営協議会委員のご意見（地域・学識）>

【地域】

- 学校の外では挨拶ができていないようだ。家庭やCSの挨拶運動とも関連していると思う。学校、家庭、CS、様々な面から手立てを講じて挨拶の活性化を図っていくべき。
- 「自分から何かを発信する力が乏しい。」というのは、ボランティアに来ていて感じる。発信したいと思う子どもにするには、聞く力を育てることも大切だ。研究内容とも関連させながら、双方向にやり取りができる子どもを育てていくことが必要。
- メディアを上手に使いこなせる子どもを育てることは大切。しかし使わせ方によっては、危険。学校が一方向的にルールを決めるのではなく、家庭でルールを決めて取り組ませることが必要。学校は、講演会や授業を通して、メディアとの付き合い方を啓蒙していく。
- 熟議の会で話し合ったSDGsについての取組を、家庭にまで広げていきたい。
- 運動会等の行事に、地域の方をもっと呼んで、子どもたちのがんばりを見てもらうとよい。

【学識】

- 学校教育目標に基づいて取り組んでおり、成果がみられる。とくに地域との連携・協力に関しては充実している。授業改善等にも積極的に取り組んでいるが、学びの評価基準が算数だけになっていることや児童の評価が少し下がっている点が気になる。
- メディアの問題については、熟議のテーマにして児童も含めて考えていくのもよいのではないかな。

【ご参考】 [RO4鴨方西小学校評価書](#)